

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公表番号】特表2004-536105(P2004-536105A)

【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-510059(P2003-510059)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 39/395

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成16年2月27日(2004.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

増殖性免疫応答を伴う疾患の治療に使用するための薬剤の調製における抗HLA抗体の使用。

【請求項2】

前記抗体がヤギ抗HLA抗体である請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記ヤギ抗HLA抗体がHIVによるチャレンジによって生じる請求項2に記載の使用。

【請求項4】

前記抗体がポリクローナルである請求項1ないし3のいずれか一項に記載の使用。

【請求項5】

前記抗体が抗HLA活性および抗HIV活性を有する請求項1ないし4のいずれか一項に記載の使用。

【請求項6】

前記薬剤がHIV、炎症性疾患、自己免疫疾患、軸索または神経の障害または関連する機能障害または癌および炎症要素を有するその他の疾患または症状を治療するためのものである請求項1ないし5のいずれか一項に記載の使用。

【請求項7】

前記抗HLA抗体がFAS、ドーパミン受容体、セロトニン受容体、神経増殖因子受容体p75およびケモカインCXCL10(IP10)の1種または複数に対する抗体と共に存在する請求項1ないし6のいずれか一項に記載の使用。

【請求項8】

多発性硬化症の治療に使用するための医薬の調製におけるヤギ血清組成物の使用。

【請求項9】

慢性関節リウマチの治療に使用するための医薬の調製におけるヤギ血清組成物の使用。

【請求項10】

神経炎の治療に使用するための医薬の調製におけるヤギ血清組成物の使用。

【請求項11】

前記ヤギ血清組成物がHIVのin vitro増殖に適した媒体を用いてヤギをチャレンジすることにより得ることが可能である、請求項8ないし10のいずれか一項に記載の使用。

【請求項12】

前記ヤギ血清組成物がHIVのin vitro増殖に適した媒体を用いてヤギをチャレンジすることにより得られる、請求項11記載の使用。

【請求項13】

前記媒体が細胞培養増殖培地の上清である、請求項11または12記載の使用。

【請求項14】

前記細胞培養増殖培地がPBMC増殖培地である、請求項13記載の使用。

【請求項15】

前記ヤギ血清組成物がヒト細胞系膜抗原でヤギをチャレンジすることにより得ができる、請求項8ないし10のいずれか一項に記載の使用。

【請求項16】

前記ヤギ血清組成物がヒト細胞系でヤギをチャレンジすることによって得ができる、請求項15記載の使用。

【請求項17】

前記ヤギ血清組成物がヤギ抗HLA抗体を含む、請求項8ないし16のいずれか一項に記載の使用。